

2025 年度協定校派遣学生募集要項 (前期選考分)

2024.3 国際センター

津田塾大学は 13 の国・地域の 30 大学と学生の交換または派遣に関する協定を結んでいます。前期の選考では、そのうちの、春に留学を開始する 7 大学の 2025 年度派遣学生を募集します。

(その他の協定校については後期に選考試験を実施します。募集要項は 6 月下旬頃に発表します。)

1. 出願資格

- ① 学部生は派遣年の前年度までに 30 単位以上の科目を修得していること。
- ② 出願時に学部 2 年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで本学に在学中であること。
- ③ 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること。
- ④ 志願先大学の要求する語学能力を有していること。
- ⑤ 十分な資金の準備ができること。
- ⑥ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること。
- ⑦ すでに協定校選考試験に合格している学生および合格後辞退した学生の応募は認めません。

2. 出願書類

- ① 2025 年度協定校派遣学生 出願フォーム

<https://business.form-mailer.jp/fms/34c03858218758>



【②～④は①の出願フォームからアップロードして提出すること】

- ② 協定校留学願書 (所定様式、手書きではなくタイプすること)
 - ③ 志願先大学が要求する語学スコアのコピー
※第二外国語の検定試験結果がある場合は、コピーを提出すること。
 - ④ 最新の成績通知書のコピー
※ 大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること。
※ 編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること。
- 【⑤は指導教員から国際センターにメール添付(PDF)、窓口持参のいずれかで提出いただくこと】**
- ⑤ セミナー指導教員による志願者評価書 (所定様式)
※ 1 ターム以上の指導歴のある教員に依頼すること

(注意)

- ②、⑤については所定用紙を使用すること。(添付書類は受け付けない)
- 書類はすべて A4 サイズで提出すること。
- TOEFL または IELTS のスコアは過去 2 年以内のものを提出すること。
インターネット画面上のスコアの提出も受け付ける。ただし、スコアの原本が届き次第、コピーを国際センターに提出すること。
選考試験合格後、志願先大学へ出願するまでにスコアの有効期限が切れる場合には試験を受けなおし、条件を満たすスコアを取得すること。
- 面接順発表後の面接順変更依頼には応じない。
- 提出された書類は返却しない。

3. 出願締切

5月15日(水) 15:00 国際センター事務室へ提出

提出方法は「2. 出願書類」を参照すること

4. 選考日程

一次試験：韓国・朝鮮語能力試験（梨花女子大学、国民大学志願者）

中国語能力試験（淡江大学、南京大学海外教育学院志願者）

5月21日(火) 12:10~12:55 小平キャンパス：7203 教室

千駄ヶ谷キャンパス：SA129

※英語圏協定校出願者の一次試験は書類選考です。筆記試験は実施しません。

発表：5月28日(火) 15:00（メールにて）（二次試験の面接順も併せて発表します。）

二次試験：5月29日(水) 15:00~順次 小平キャンパス：1号館大会議室（学生控室 **出願者に連絡**）

千駄ヶ谷キャンパス：SA130（※小平キャンパスより中継）

（学生控室 SA129）

（一次試験合格者のみ受験可、外国語と日本語による面接試験）

発表：6月4日(火) 15:00（メールにて）

5. 選考試験合格者オリエンテーション

選考試験合格者オリエンテーションを以下のとおり実施します。合格者は必ず出席してください。

日時：6月12日(水) 12:00~13:00（補講日）

場所：小平キャンパス 7101 教室（総合政策学科生で、補講のため対面参加ができない場合は Zoom 参加可）

- ① 出願書類について
- ② 派遣までの流れ
- ③ その他注意事項

6. その他留意事項

① 本選考試験合格者は本学より**派遣候補生として志願先大学に推薦**されます（本選考試験合格後は、特別な事情を除き、辞退できません）。その後各自志願先大学に出願し、審査の結果**正式な受入許可が発行された場合**に協定校派遣学生の資格を得ます。

（本選考試験合格＝協定校派遣決定ではありません。）

② **志願先大学に出願する段階で、要求されている GPA および語学スコアをクリアしない場合は派遣することができません。**（派遣学生選考後に協定校が受入条件を変更する場合があります。）

③ 1年もしくは半年の留学期間は本学における修業年限に算入されます。

④ 留学期間（留学開始日および終了日）は派遣先大学の決定により変更される可能性があります。

⑤ 定められた留学期間を個人の理由により変更することはできません。

⑥ 派遣先大学では定められた単位数を履修登録し、単位修得に努めてください。

⑦ 留学終了後は本学に戻り学業を再開してください。

⑧ 出発日から帰国日までを保険期間とする海外旅行傷害保険に渡航前に必ず加入してください。

⑨ 外務省海外安全ホームページによる「海外安全情報」または「感染症危険情報」がレベル2以上の国・

地域への学生派遣は行いません。

■ 協定校留学に関する学内制度について ■

(1) 学籍

協定校留学はすべて「留学」の学籍になります。

1年を限度としてその留学期間を本学における修業年限に算入できます。

(2) 科目継続（学芸学部開講科目のみ）

後期から1学年間の留学を開始する場合には、T1-T3-T4科目またはT1-T3科目について、同一科目の留学前（前期開講部分）の履修と、帰学後（後期開講部分）の履修とを継続することで、通年分の単位を修得することができます。半年間の留学をする場合は科目継続の申請はできません。

また、隔年開講科目など翌年度開講されない科目については科目継続されませんので、注意してください。

※ 科目継続は私費留学にも適用されます。

(3) 単位認定

留学先の大学で修得した単位については、本学での他の認定科目と合わせて学部生は30単位まで、大学院生は10単位まで本学の卒業・修了に必要な単位として認定を願い出すことができます。（ただし、大学院生は修了単位に含める場合、各研究科の条件があるので教務課に相談してください。）

本学で開講されている科目に時間数やレベル・内容がほぼ該当すると認められた場合、本学の単位として認定されます。

※ 留学期間を含め4年間で本学を卒業することを希望する学生は履修要覧および国際センター発行の「津田塾生のための留学ハンドブック」を熟読したうえで、国際センターならびに教務課または千駄ヶ谷キャンパス事務室にその可能性について事前に確認してください。

※ 単位認定は「留学」の学籍での私費留学にも適用されます。

(4) 留学に伴う登録延期（学芸学部の学生のみ）

後期から留学を開始し、翌年5月末日までに学期が終了し、本学での履修を再開することができれば、遅れて履修登録をし、授業の履修を開始することができます。ただし、出席重視科目とT1-T3開講科目は、出席日数の都合により、帰国日によっては受講が許可されない場合があります。留学終了後は速やかに帰国するようにしてください。T1科目は履修できません。

なお、留学に伴う登録延期のために、留学期間を短縮すること、一時帰国して履修登録手続きのみをすることは認められません。

登録後は直ちに履修を開始してください。

※ 留学に伴う登録延期をする場合、帰学する年度の前期分の本学授業料は減免されません。

※ 留学に伴う登録延期は私費留学にも適用されます。

注) T1科目…第1タームのみで完結する科目

T1-T3科目…第1タームと第3ターム連続で開講される科目

T1-T3-T4科目…第1ターム・第3ターム・第4ターム連続で開講される科目（通年科目）

<協定校選考試験出願手続きについての注意事項・FAQ>

1. 津田塾大学協定校留学願書について

- ① GPA の欄には成績通知書または TsudaNet web 履修成績の成績照会ページに記載されている総合 GPA を小数点 2 位まで書いてください。
- ② セミナー指導教員は現在または直近の所属セミナーの先生（英語英文学科の 2 年次の学生は、1 年次の基礎セミナーの先生）の名前を書いてください。
- ③ 希望履修科目については志願先大学のホームページ等で開講科目を確認の上、記載してください。
- ④ 留学を希望する理由および志願先大学を選んだ理由と学びたいことについては非英語圏大学志願者も日本語と英語の両方の言語で記載してください。

2. 志願者評価書について

- ① 和文または英文のどちらか 1 通を、現在または直近の所属セミナーの先生（英語英文学科 2 年次の学生は 1 年次の基礎セミナーの先生）に依頼してください。
- ② 志願者評価書は先生から直接国際センターに提出いただくことになっていますので、依頼者本人が受け取らないでください。
提出方法はメール添付(PDF)、または国際センター/千駄ヶ谷キャンパス事務室の窓口での提出のいずれでも結構です。提出期限は、出願締切と同様です。
- ③ 志願者評価書を先生に依頼する際に、学科・学年・氏名、志願留学先大学名、志望理由、課外活動（ボランティア活動やサークルなど）について A4 用紙 1 枚程度にまとめたものと成績通知書・語学スコアのコピーなどを添えるとよいでしょう。
- ④ 十分な時間の余裕をもって依頼してください。

3. 選考試験について

- ① 一次試験（筆記試験）：第二外国語での受験者のみが対象です。筆記用具を持参のこと。
※英語については一次試験（筆記試験）は実施しません。
- ② 二次試験（面接試験）：面接順発表後の面接順の変更依頼には応じられません。
- ③ 派遣先大学については第 2 志望校を含め総合的に審査します。
- ④ 合格後は特別な事情を除き、辞退できません。
- ⑤ 記載事項に変更がある場合には必ず申し出てください。

4. GPA について

募集要項 6. その他留意事項の②に記載の通り、志願先大学に出願する段階で、要求されている GPA および語学スコアをクリアしない場合は派遣することができません。派遣学生選考試験合格＝協定校留学決定ではありません。派遣学生選考試験合格後に GPA が派遣先大学の要件を下回ることがないように、十分ご注意ください。

Q. 「協定校留学願書」(所定用紙)の「留学を希望する理由」や「志望先大学を選んだ理由と学びたいこと」は、文字数制限はありますか。また、枠内に文章が収まりきらない場合はどうすればいいですか。

A. 文字数制限はありません。ただし、枠内に収まる分量で記載し全文を確認出来るようにしてください。

Q. 語学スコアはいつまでに取得すればよいですか。

A. 協定校選考試験の出願締め切りまでに志望先大学が要求する語学スコアを取得し、スコア票のコピーを提出してください。なお、出願時にはインターネット画面上のスコアの提出でも受け付けます。その場合は、スコアの原本が届き次第、コピーを国際センターに提出してください。

Q. 語学スコアのコピーはどのように提出したらよいですか。

A. PDF形式で応募フォームからアップロードして提出してください。

スキャナがない場合のPDFファイルの作成方法は以下を参考にしてください。

(ページ中ほどに「PDFファイルを作成する方法」という項があります。)

<https://www.adobe.com/jp/acrobat/resources/about-pdf.html>

また、願書に記載した語学スコアの証明書はすべて提出してください。

Q. 出願書類の「最新の総合GPAが記載されたTsudaNet web履修成績の成績照会ページのコピー」はどのように提出したらよいですか。(※後期の選考試験のみ該当)

A. 該当のウェブページ上で、「全科目表示」(※「当年度」ではない)をし、右クリック→「印刷」→「PDFで保存」で作成したPDFを提出してください。

2024.03

津田塾大学国際センター

協定校一覧

2024年3月現在

国・地域	協定校	募集予定人数	留学期間	対象	英語要求点		その他言語要求点	成績基準 GPA
					TOEFL iBT	IELTS		
アメリカ	プリンマー大学	交換 ※		*1	100	7.0		3.0
	インディアナ大学パデュー大学 インディアナポリス	交換または派遣 ※		*2	80	6.5		2.8
	ミネソタ州立大学モアヘッド	派遣3人	【後期選考予定】	*1	学部 61	5.5		2.8
					大学院 78	6.5		
	ランドルフ大学	派遣2人	【後期選考予定】(注2)	*1	79	6.5		3.0
	サラ・ローレンス大学	交換 ※		*1	90	6.5		3.0
	スペルマン大学	募集なし		*1	80	6.0		3.0
	カリフォルニア大学デービス校	派遣3人	【後期選考予定】	*2	71	6.0		3.0
	カンザス大学	派遣3人	【後期選考予定】	*1	学部 71	6.0		2.8
大学院 55(各13)					5.5(注3)			
ウエスタン・ワシントン大学	交換1人 派遣1人 注(5)	2025.4~2026.3	*1	79	6.5		2.8	
英国	アベリストウィス大学	派遣3人	【後期選考予定】	*1		5.5(注1) (注3)		2.8
	ブリストル大学	派遣3人	【後期選考予定】(注2)	*1		6.0(注3)		3.0
	エディンバラ大学	派遣3人	【後期選考予定】	*1		6.5(注3)		3.0
	ヨーク大学	派遣3人	【後期選考予定】	*1		6.0(注1) (注3)		3.0
	リーズ大学	派遣3人	【後期選考予定】	*1		5.5(注1) (注3)		3.0
	ロンドン大学SOAS	交換 ※		*2		6.5(注3)		3.3
スウェーデン	ブレイキング工科大学	交換 ※		*3	61	5.5		2.8
フランス	CYセルジー・パリ大学	交換 ※		*1	61	5.5	仏語A2	3.0
オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学	交換 ※		*1	72	5.5	独語B2	2.8
ドイツ	ブレーメン応用科学大学	交換 ※		*1	72	5.5	独語B2	2.8
	ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	交換 ※		*4			独語B1	3.0
オーストラリア	オーストラリア国立大学	派遣3人	2025.2~2025.11	*1	80(注3)	6.5(注3)		3.0
	ディーキン大学	派遣3人	2025.2~2025.10または 2025.2~2026.2	*1	52	5.0		2.8
フィリピン	フィリピン大学	交換 ※		*1	61	5.5		3.0
ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	交換 ※		*2	79	6.0		2.8
韓国	梨花女子大学	派遣2人	2025.3~2025.12	*1	(注4)			2.8
	国民大学	交換2人	2025.3~2025.12	*2	(注4)			2.8
中国	南京大学海外教育学院	派遣3人	2025.2~2025.12	*1				2.8
	香港樹仁大学	交換 ※		*2	79	6.0(注3)		2.8
台湾	淡江大学	交換2人	2025.2~2026.1	*2				2.8
メキシコ	メトロポリタン自治大学	交換 ※		*1			DELE B1	2.8

※前期に募集を行わない交換協定校については、後期の募集要項で詳細を確認のこと。

(注1) 学部によってはさらに高い英語力を求められる。協定校別の募集詳細を参照のこと。

(注2) 半年留学(後期のみ)も可能。

(注3) 各セクションごとの要求点については協定校別の募集詳細を参照のこと。

(注4) TOEFL iBTまたはTOEFL ITPのスコアを提出すること。

(注5) 交換留学:州内授業料自己負担、派遣留学:州外授業料自己負担 詳細は大学ごとの情報が記載されたページを参照のこと。

*1 2学部全学科・全研究科

*2 2学部全学科

*3 学芸学部数学科・情報科学科、理学研究科

*4 学芸学部全学科・全研究科

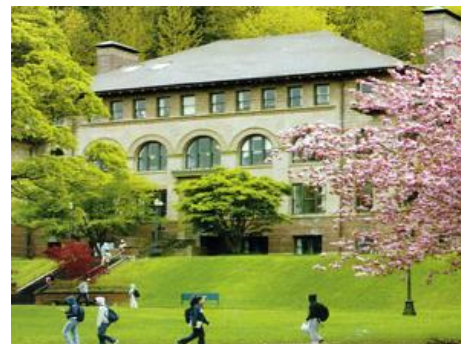
ウエスタン・ワシントン大学 Western Washington University

所在地	アメリカ、ワシントン州ベリンハム
派遣期間	2025年4月～2026年3月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	2人（交換留学生1人、派遣留学生1人）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、州内授業料自己負担（2023年度：US\$9,735） 派遣留学の場合、州外授業料自己負担（2023年度：US\$27,852） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	交換留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約470万円（本学学費、渡航費を除く） 派遣留学の場合：留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約750万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② TOEFL iBT 79 または IELTS 6.5 以上

1893年に教員養成機関 New Whatcom State Normal School として設立され、その後幾度かの名称変更を経て1961年に現校名になりました。男女共学の州立大学で学生数は約15,000人。大学院と7つのCollegeを擁する総合大学ですが、少人数教育をモットーとしています。学生の国際感覚の向上にも力を入れており、アジア各国の言語および文化を扱うプログラムが開講されているほか、アジアをはじめヨーロッパの大学と多数交流協定を持っています。

シアトルから90マイル北、カナダとの国境に近いベリンハム市の緑豊かなキャンパスは、市街とチャックナット湾を見下ろす位置にあります。4,000人近い学生がキャンパス内の寮で生活しています。学部生の28%がエスニックマイノリティの学生で構成されています。学生と教員の比率は19:1です。

クォーター制をとっているため4月から留学を開始することができます。



創立年 1893年
協定締結 1981年6月
学生数 15,197人（2021年）
学問領域 <https://catalog.wwu.edu/content.php?catoid=20&navoid=5695>



学期 クォーター制（秋学期：9月～12月、冬学期：1月～3月、春学期：4月～6月）
宿舎 寮またはアパート
URL <http://www.wwu.edu/>

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

オーストラリア国立大学 Australian National University

所在地	オーストラリア、キャンベラ
派遣期間	2025年2月～2025年11月
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2023年度 AU\$ 24,000） 本学：全額減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約 465 万円（渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の成績が原則として GPA 3.0 以上 ③ IELTS 6.5(各セクション6.0)または TOEFL iBT 80(Reading, Writing: 各20、Listening, Speaking: 各18) 以上

オーストラリア国立大学は 1946 年に、大学院研究を唯一専門とする国立大学として創設された大学で、全豪ナンバーワン、世界でもトップクラスの教育水準を誇る大学です。学部は、人文社会科学、商学／経済学、アジア太平洋学、工学／情報工学、法学、医学／生物学／環境学、数学の 7 つのカレッジ（学部）から構成されています。また、生物化学、地球科学、物理化学／工学、天文学、化学、アジア太平洋学など、13 のリサーチスクール（The Institute of Advanced Studies）を擁しています。国内外 94 ヶ国から約 25,500 人も目の学生が集まっています。



キャンベラの中心部に 145 ヘクタールのメイン・キャンパスを構え、200 を超える建物を保有しています。ハーレー・グリフィン湖を臨むキャンパスは、対岸に市の中心街があるにも関わらず、カンガルーや白オウムなどの野生動物が生息するなど、非常に自然に恵まれた環境です。図書館の蔵書数は 200 万冊を超え、アジア・太平洋地域では他に類をみない規模を誇っています。

本学とは 1981 年に学生交換協定を締結しましたが、それより前の 1974 年からオーストラリア人実業家ダンカン夫妻（夫人は本学卒業生）の篤志により、その奨学金で本学学生が留学していました。

創立年 1946 年
協定締結 1981 年 4 月
学生数 25,500 人 (2019 年)
学問領域 <https://www.anu.edu.au/about/academic-colleges>



学期 セメスター制（1 学期：2 月～6 月、2 学期：7 月～11 月）
宿舎 本学学生は Ursula Hall と呼ばれる男女共同寮に入ることが多い。定員は 200 名弱で 3 食付。1 年を通してコンサートやスポーツ大会など様々なイベントが企画されている。そのほかの寮を希望することも出来る。
URL <http://www.anu.edu.au/>

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

ディーキン大学 Deakin University

所在地	オーストラリア、ビクトリア州メルボルン（Burwood campus：メインキャンパス）
留学期間	語学研修付き：2025年3月～2025年10月または2025年3月～2026年2月 直接入学：2025年2月～2025年10月または2025年2月～2026年2月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担 （2024年度：3科目登録の場合1学期AU\$8,250 4科目登録の場合1学期AU\$11,000 本学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、住居費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約465万円（3科目登録、寮滞在の場合）（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 直接入学：IELTS 6.0（各セクション6.0）またはTOEFL iBT 69（Writing 21）以上 15週間の事前語学研修付き：IELTS 5.0（各セクション5.0）またはTOEFL iBT 52以上（3月開始）

1974年に創立されたディーキン大学は、第2代オーストラリア首相、アルフレッド・ディーキンにちなんで名付けられました。

ビクトリア州のメルボルンに1ヶ所、ジーロングに2ヶ所、ワーナンブールに1ヶ所、合計4ヶ所にキャンパスを構えています。Faculty of Arts and Education, Faculty of Business and Law, Faculty of Health, Faculty of Science, Engineering and Built Environmentの4つの学問領域のもと、300以上の学位コースが設けられています。

メイン・キャンパスであるメルボルン・バーウッド・キャンパス（Melbourne Campus at Burwood）はメルボルン郊外東部にあり、中心部からはトラムで約45分です。活気ある都会型キャンパスで、29,000人以上の学部生、院生が学んでいます。

ディーキン大学附属英語学校（DUELI: Deakin University English Language Institute）を持ち、1998年から留学生向けの英語の集中プログラムを提供しています。DUELIでの事前語学研修付きのプログラムに参加した場合、DUELIクラブのイベント運営に関してインターン生あるいはボランティア生として活動できるチャンスがあります。



創立年 1974年

協定締結 2018年6月

学生数 64,585人（2021年）

学問領域 <https://www.deakin.edu.au/international-students/study-abroad-and-exchange/academic-information/pre-approved-study-options>

学期 トライメスター制（以下”T”と表記）T1：2月～6月、T2：7月～10月、T3：11月～2月

宿舎 キャンパス内の寮（自炊）、食事付きのホームステイなど

URL <http://www.deakin.edu.au/>



【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

梨花女子大学

Ewha Womans University

所在地	韓国、ソウル
派遣期間	2025年3月～2025年12月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	2人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2024年度：9,000,000KRW） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約200万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること

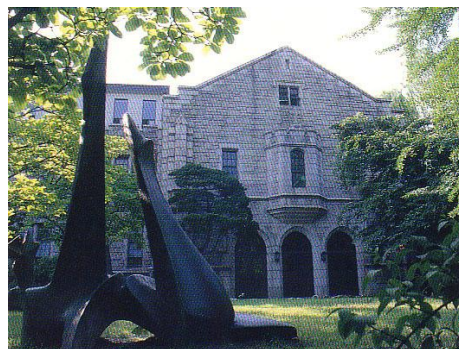
梨花女子大学は1886年にメソジストの宣教師であるアメリカ人 Mary F. Scranton によって創設された、女子大学としては世界でも他に類を見ない大規模な総合大学です。韓国で最も古い女子大学であり、女子教育の先導的役割を果たしてきました。1910年には College に、1946年には韓国教育省認可の University 第1号になりました。現在は世界を視野に入れた更なる発展を目指しています。

学部課程は15のカレッジ、約70の学科・専攻を有しています。現在は大学院と留学生に限って、男子学生を受け入れています。

キャンパスは首都ソウルの中心地にあり、学生は市内で催される様々な文化的行事を見逃すことがありません。広大なキャンパスは街中にあるにもかかわらず、自然に恵まれた環境です。

英語による授業も数多く提供しています。

創立年 1886年
協定締結 1987年9月
学生数 学部生 15,281人、大学院生 5,800人（2021年）
学問領域 <http://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/college.do>



学期 セメスター制（春学期：3月～6月、秋学期：9月～12月）
宿舎 学寮は4,300人を収容できる。1～4人部屋あり。
その他留学生用に International House がある（1人部屋か2人部屋）
URL <http://www.ewha.ac.kr/>

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

国民大学 Kookmin University

所在地	韓国、ソウル
派遣期間	2025年3月～2025年12月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	2人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担
所要経費	寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約100万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	韓国・朝鮮語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること

国民大学は戦後の1946年、大韓民国臨時政府指導者たちが中心となり、新しい国を作るための人材を養成することを目的として設立された韓国初の私立大学であり、現在はグローバルな学術交流を先導する教育機関として成長し続けています。

国民大学は、文科大学、社会科学大学、工科大学、造形大学のほか16大学（日本の学部該当する）並びに一般大学院、特殊大学院及び付属研究所から構成されている総合大学です。

34ヶ国の120校以上の教育機関と姉妹校提携及び学術交流協定を結び、交換・訪問学生制度や単位認定語学研修などを実施しています。特に1998年に新設された国際学部の日本地域研究は国民大学の三本の柱といわれており、国内の大学ではトップを競う分野となっております。付属研究所の一つである日本学研究所は韓国政府の学術基金に支えられ、多様な長期プロジェクトを遂行しており、韓国における日本研究の拠点としての役割を果たしています。

英語および日本語による授業も数多く提供しています。



創立年 1946年
 協定締結 2016年4月
 学生数 学部生 15,162人（2019年）
 学問領域 <https://english.kookmin.ac.kr/academics/undergraduates/globals>



学期 セメスター制（春学期：3月～6月、秋学期：9月～12月）
 宿舍 学内外に学寮あり
 URL <http://www.kookmin.ac.kr> (Korean)
<http://english.kookmin.ac.kr> (English)

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

南京大学海外教育学院 Institute for International Students, Nanjing University

所在地	中国江蘇省南京市
派遣期間	2025年2月～2025年12月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	3人（派遣留学生）
対象	全学科（2年生以上）、全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2023年度：21,000元） 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費	留学先学費、寮舎費、食費、教材費、保険、諸雑費 年間約135万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし、受講できるのは学部の授業のみ） ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること

南京大学は、南京市の中心部に位置する中国において古い歴史と伝統を持つ最も著名な大学のひとつです。幅広い研究領域、充実した研究設備をもち、中国で最大規模の図書館を所有し、465万冊以上の蔵書があります。また、キャンパスには研究所、総合研究センター、分析センター、ネットワーク情報センター、教育テクノロジーセンターなどの施設があります。

本学と協定を結ぶ、海外教育学院は南京大学鼓楼キャンパスにあり、初級から大学院レベルまでの中国語プログラムを提供しています。1955年に最初の留学生を受け入れて以来、120以上の国から数多くの留学生を受け入れてきました。現在は韓国、アメリカなどから約3,000名の留学生が南京大学海外教育学院で学んでいます。留学生は中国語のほか、中国近代史、中国経済、中国絵画、中国哲学、太極拳などを選択することができます。



キャンパスのある南京市は江蘇省の省都で、長江下流の沿岸に位置します。同市は江南地域の中心的な経済都市で、悠久の伝統と文化を有します。四季があり、風光明媚で、快適かつ安全に暮らせませす。夏場の気温は高く、7・8月の平均気温は30度を超すこともあります。北京、西安、洛陽に並ぶ中国四大古都の一つで、歴史的遺跡、とりわけ六朝時代、明朝時代、中華民国時代の遺産が数多く保存されています。

創立年 1955年（南京大学海外教育学院）
1902年（南京大学）
協定締結 2011年4月
学生数 3,153人（2015年）
学問領域 <https://hwxy.nju.edu.cn/lxnd/zsxx/hyxx/zqhyjx/index.html>



学期 2学期制（秋学期：9月～1月、春学期：2月～6月）
宿舎 留学生には寮が優先的に提供される。
URL <http://hwxy.nju.edu.cn/cn/>（南京大学海外教育学院）
<http://www.nju.edu.cn/>（南京大学）

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。

淡江大学 Tamkang University

所在地	台湾省台北県淡水鎮
派遣期間	2025年2月～2026年1月 ※秋学期開始の派遣学生は本選考において派遣定員を満たさなかった場合のみ後期に募集する
募集人数	2人（交換留学生）
対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本学：在籍料相当額（年額20万円）に減免
寮舎費・食費	寮舎費：全額免除 食費：自己負担
所要経費	食費、教材費、保険、諸雑費 年間約85万円（本学学費、渡航費を除く）
授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること
注意	派遣学生選考一次試験（中国語能力試験）は繁体字を含む

淡江大学は1950年、淡江英語専科学校として開校し、その後1958年に文理学院となり、1980年に大学となりました。現在では台湾最大の学生数を抱える大規模な私立大学です。専攻分野は8学部47学科（研究科含む）に及び、総蔵書数は100万冊を越えます。台北・淡水の二つのキャンパスに加え、蘭陽キャンパス、Cyber Campusの4つのキャンパスがあります。テンポの速い発展をした大学として、様々なパイオニア的試みを実施したことも特色のひとつにあげられます。教授法プログラムや図書館システム、大学行政での積極的なコンピューター利用、また学生による授業評価の取り入れや夜間学部の設立など、台湾の私立大学としては初めてという試みを多くしてきました。



現在は「量より質の重視」の方針をとり、「国際化、情報化、未来化」という3つの理念を打ち立てています。教育の質を厳しく追及し、より地域に根ざした総合大学として発展し、ひいては国際的な学術研究の舞台で活躍できる、世界でトップクラスの総合大学へと成長していくことを目下の課題としています。

創立年 1950年
 協定締結 1994年4月
 学生数 24,000人（2021年）
 学問領域 <https://www.tku.edu.tw/acad.asp> （中国語）



<https://english.tku.edu.tw/Academics.asp> （英語）



学期 2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）
 宿舍 本学学生は松涛館という4人部屋からなる学寮又は留学生用の麗澤国際寮に入る。
 URL <http://www.tku.edu.tw/>
<http://foreign.tku.edu.tw/lang/index-j.asp>

【注意】各協定校のページに記載の所要経費は概算であり、レートの変動等の影響により変わります。